学校だより
# 三年先の稽古
発行：校長　益子　朗

## 雨の中、親子で協力
# ＰＴＡ親子奉仕作業

去る６月８日（土）午前６時から、ＰＴＡ親子奉仕作業が行われました。今年からは「親子」となり、大勢の皆さんにご協力頂きました。

この日は前日から雨で、あいにくのコンディションでしたが、皆さん熱心に作業してくださいました。多くの中学生は友達と作業をしていましたが、親子で仲良く話しながら草むしりをしている姿も見られました。お父さん方には草刈り機で土手や法面などをしっかり刈り込んでいただきました。

奉仕作業に合わせて、幼稚園前の横断歩道から学校までの坂道にルコウアサガオの苗を植えました。うまく育てば、晩夏～初秋に赤い可憐な花がたくさん咲くはずです。

## 学校教育目標
## ～夢を求め、健やかで温かい生徒の育成～

村上かおり環境委員長はじめ環境委員の皆さん、参加された保護者の皆さん、有り難うございました（第２回は８月下旬予定）。

## お世話になっています！

４月に職員紹介をいたしましたが、その後に着任された先生方などをご紹介いたします。それぞれ大信中学校の生徒のために、お力を発揮して頂いております。

**○用務員・須藤繁幸さん**
正式着任前から前任の三浦さんのお仕事を何度も見学に来られるなど、熱心に取り組んで頂いています。

**○スクールカウンセラー砂塚洋子先生**
経験豊富なベテランの先生で、子ども達の現状を受け入れた上で、悩みなどを聞いて相談して頂いています。

**○サポートティーチャー佐藤美佐子先生**
以前、本校にも勤務されていた英語の先生で、週１回、生徒への個別の学習指導や相談をお願いしています。

## 校長のつぶやき

（少し小さい声で言いますが）明後日は６月第３日曜日＝父の日です。先月「母の日」について書きましたので「父の日」についても多少遠慮がちに書かせて頂きます。世間一般的にも私個人も「母の日」は毎年忘れませんが、「父の日」はどうも定着していないように思います。母には、愛情を注いで産み育ててくれたことに心から感謝の気持ちを伝えたいと思いますが、親父となるとどうも・・。私自身も息子たちには父の日を忘れ去られています。

私の父は85歳で健在ですが、炊事や洗濯などは難しいので、現在は私たちが同居しています。昔は厳しい父で、私の生き方や考え方の多くは父から教えられ導かれたものだと思います。一方で、年をとるにつれ、いつの間にか生意気ながら私が父に小言を言うようになってきたように思います。

しかし、父は年老いた今でもなお、ここぞと言うときに私の間違いや傲りを戒めてくれます。

東日本大震災で白河の給食センターが半壊し、給食が白いお握りにたくあんだけという時期がありました。私も非常時だから仕方ないとわかってはいましたが、ついそれを愚痴ったら、父は一言、

**「白いご飯が食べられるだけ有り難いと思え」**

・・全く返す言葉がありませんでした。

また私が新任教頭の頃、ある職員が私の指示を守らなかったために大きな失敗をしたことがありました。当然、校長先生の耳に入れば、「教頭の指導がなっていない」と叱られます。かと言って「自分はちゃんと指導したのに、○○が言う通りにしなかったんです」と言うわけにもいかず、「あ～あ、人のせいで叱られる・・」と、ついため息をついたら、父が一言、

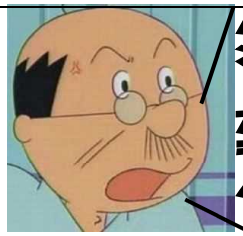
**「それがおまえの仕事だ」**

・・この時も返す言葉がありませんでした。

人は年をとり立場を得るにつれて、誰も叱ってくれなくなり、ともすれば傲慢になることがあるものです。そんな時、老いた父の一言は、いつも私の胸に刺さり、目を覚ましてくれるのです。今でも

**自分を本気で叱ってくれる父親の存在は、有り難いものです。**

私自身は、父親として息子たちにそんな金言を与えられているかと振り返ると、甚だお恥ずかしい限りですが、**仮に息子が道を外しそうになった時、それを止められるのは自分だけだということは肝に銘じていたい**と思います。

未だに父親にはなかなか感謝の気持ちを言えない私ですが、週末には一緒にお酒を呑むので、そんな時に気持ちが伝われればと思います。

中学生の皆さんはどうでしょう。私には娘がいないのでわかりませんが、女の子の方がお父さんに感謝の気持ちを伝えやすいかもしれません。男子はちょっと難しいかもしれませんが、私のようにならないよう、何とか頑張って感謝の気持ちを伝えましょう。